

案件ごとの採算の見える化から始まる自動化



自社開発ツール「Pace」による採算の見える化と RPA&生成AIによる業務自動化

背景・課題

Webサイト制作を「デジタルのものづくり」として捉え直し、製造業の「カイゼン」を導入することにしました。1案件ごとの採算を把握できていなかったため、まずは採算管理ソフトを自社開発し、採算状況を見える化しました。見えた業務のムダを徹底的に排除するために、RPAと生成AIを活用することにしました。

創意工夫した点・得られた成果・今後の展開

自社開発の採算管理ソフト「Pace」で案件ごとの収支を明確にし、RPAとAIの研究を行う4名体制の専門部署も設置しました。その結果、営業利益率は2019年の3%から現在は15%まで向上しています。現在は社内業務の90%自動化を目指す中、このノウハウを活かしたDX支援アウトソーシングサービス「リープ・DX」で、お客様のデジタル化・自動化も支援していきます。



株式会社リーピー

代表取締役 川口 聡

本社 岐阜県岐阜市香蘭三丁目7番地

